

令和3年度 6月(第2回) 理事会議事録

日 時 : 令和3年6月9日(水) 19:00~20:20
本会議場および Zoom による Web 参加
出席者 : (会場) ナースプラザ福岡 3F 303 研修室 総務局長 池上新一 運営理事 荒木敏造、坂本徳隆、加藤康男、新田誠、佐藤房枝 監 事 柳本孝子、北里謙二 書 記 堀田飛香、市丸加奈子 事 務 局 金子千代美 (Web) 会 長 西浦明彦 副 会 長 倉重康彦、外山洋子 運営理事 大久保文彦、木村賢司、田代恭子、緒方昌倫、生田幹博、長谷一憲、 理 事 赤池一男、佐藤謙一、山田久、浦園真司、中村洋亮、小野裕一郎 欠席者 : なし

【議 事】 司 会 総務局長 池上新一

- ◇議 題
- | | |
|----------------------------------|---------|
| 1. 福臨技のコロナウイルス感染症対策 (7月以降) について | 会長 西浦 |
| 2. 第70 回日本医学検査学会報告 | 副会長 倉重 |
| 3. 令和3年度定時総会報告 | 総務局長 池上 |
| 4. 今年度の各理事 (各部) 執行業務について | 会長 西浦 |
| 5. 福臨技新人研修会について | 運営理事 荒木 |
| 6. タスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会について | 会長 西浦 |
| 7. 日臨技定時総会について | 会長 西浦 |
| 8. 各部報告 | |
| 9. 各地区報告 | |
| 10. その他 | |

◇会長挨拶

西浦明彦

総会が終わりまして新たな理事会となると思います。皆さんと1年間いい方向に進むように努力していきたいと思っていますので、ご協力をお願いします。今日も様々な議題もありますし、執行业務も私なりに考えてきましたので、皆さんと共有しながら進めたいと思いますので、よろしくお願いします。

1. 福臨技のコロナウイルス感染症対策（7月以降）について 会長 西浦
6月20日に緊急事態宣言は解除される予定だが、施設の基準など厳しいところもあると思いますので、7月以降も現状通りの対応を維持したいと考えている。反対意見なく承認となった。

2. 第70回日本医学検査学会報告 副会長 倉重
昨日までで参加登録が7102名、会員の約11%です。福岡は809名、福臨技の約23%の方々が参加している状況です。度重なる一斉メールが功を奏したと思われそうです。会期が始まってからも少しずつ登録が増えています。ログイン状況を確認すると、履歴が無い方が1100名くらいいらっしゃいます。日臨技のIDとパスワードでログインしないと歴が残らないことが判明しましたので、先日、メールにてログイン方法をメールしています。漏れた方々については最終的には学会費を納入されていますので、JCSにすべての参加登録を行ってもらう予定です。お礼状と記念品発送は明日、総務の方で行って頂けるとのこと。企業と祝辞をいただいた団体も随時進めて行きます。HP内のアンケート調査ですが、6月8日とアップが遅くなったので、事前参加の方々にアンケートに答えて頂くよう昨日メールしています。実行委員とプログラム委員に対する聞き取り調査も荒木総務部長に進めていただいている。WEB展示のスタンプラリーは会期終了後にJCSより該当者を報告いただいて、緒方展示部長より記念品発送を行って頂きます。西高辻先生の講演がアップされていなかった件ですが、先生よりスライド修正依頼があったためとのことでした。6月6日にはアップされています。教育講演は素晴らしいものばかりであったと日臨技よりEラーニングに使用したいとの依頼があります。大久保プログラム委員長にも確認したが、是非にとの意見であった。どのように承諾を取るのかについては西浦大会長より、後日、日臨技執行理事に確認して頂く運びとなった。

3. 令和3年度定時総会報告 総務局長 池上
各理事の皆様方のご協力をいただき、委任状もたくさん集まり1号議案から4号議案まで無事、承認されました。4月末で会員が3342名で4号議案の定款の変更は2/3以上の委任状・議決が必要となっていました。2400名を超える委任状・議決となりましたので、これも了承されました。各理事の皆様方に対応いただいた結果だと、執行部一同、深く感謝しております。

4. 今年度の各理事（各部）執行业務について 会長 西浦
令和3年度の総会ですべてが承認されましたので、来年度からは副会長3名体制にな

ることもありますので、それも含め今年度中に各理事（各部）執行業務を整えておきたい。各理事の方々の業務は組織運営規程に記載してありますので、内容を今一度確認いただきたい。提示している資料（定款と組織運営規程の抜粋管理）は明日、皆さんに送ります。三役の業務については定款に記載されています。3人体制の副会長については学術、管理・経理、渉外・公益の統括と考えている。管理運営部については定款・細則及び諸規定に関することと記載があるが、これに加えやっていかなければいけないことや変更すべきことがあれば、意見いただきたい。それに加え各委員会があるが委員会や部会など統一性がないので、これについても意見を述べていただきたい。管理運営部を見ていただくとコロナ禍においてPCセンターの活用が議題となった。学会運営のために創ったものだが、今は広報・情報に属させているがホームページや情報発信を担う業務であり、学会や講演会、総会を担う部隊として意味合いが違うものとする。学術事業に関してはたくさんのことを行っていただいているが、精度管理事業について補佐して頂ければ、精度管理事業も上手く行くのではないかと考えている。精度管理事業は去年から始めているものであり、坂本部長にしっかりやっていただきたい。非常に重要な事業であるが、生化学と血液の一部に特化したものとなっている。日臨技は各部門に対する精度管理を始めており、病理や生理といったところも入ってきているため、今後どのように対応していくかが重要となる。そこを考えると学術事業部に介入いただければと考える。福岡がモデルケースとなるように作り上げていただきたい。生化学だけではなく、各部門の精度管理委員会も必要となってくるのではないかと考えている。今年度中に作り上げていただきたい。今やっている試料の作成やデータ解析については誰が行っているかわからないようなところもあるので、見える化して頂きたい。精度管理専門委員会は県の事業、県医師会の精度管理、九州精度管理と他団体との関係もあやふやなので、このあたりの整備も必要である。今年度、一番大変な部門になると思われるが、よろしく願いしたい。企画運営は災害対策等を行って頂いているが、管理運営の補佐をお願いする。他団体との連携もありますので、日臨技からの事業関連は企画運営が窓口となり取り組んでいただく。広報・情報はHP事業及び会の広報物等、会員との情報共有についても、例えば紙から電子へなど、会員が分かりやすくコストカットとにもなるような取り組みを行って頂きたい。公益事業部は外部との交渉、今はコロナ禍でこの年間ほとんど動けない状態であったと思われるが、これを踏まえ、技師会単独で企画できるような公益事業を考えていただくことも、これからの我々が進む道なのかもしれません。財務管理部については各部どのような使用が出来るのか、各地区がどのように運用していけるのか、十分な分配を行って頂いているところですが、お金の番人として分かりやすく管理をお願いしたい。各地区は地区長を中心として各理事もいますので、地区規程の中には資料の通り4つの事業があり、県の事業を会員にきちんと提供して頂かなければいけない。その中で、もっとこういったことや、こういった予算が必要など、相談して頂きたい。資料の変更・改善案のところは空白にしているが、今年度の取り組みを記載して頂き、次回の理事会で話し合いたい。右端の委員会は委員会や部会など会員名簿に載っているものです。大きな部会は担当の部長と副部長の理事が入っています。自分たちの手となり足となる人たちをきちんと選任し、活発に活動して頂きたい。この委員会は不要

だとか、こういった委員会があればいいなどの意見もお願いします。精度管理事業委員会については月に1回開催して頂くなど、活発な活動をみせてほしい。組織運営規程に記載されている委員会は資料の4つのみです。他の委員会も行う内容の規定を各部長に報告いただき、組織運営規程に取り込みたいと考えている。こういったことも含め今年1年で作り上げ、次年度は副会長3人体制となるので新しい福岡県を発信していけたらと考えています。

5. 福臨技新人研修会について

運営理事 荒木

資料(案)を提示します。日時は7月31日(土)14:00~16:00、開催形式は会場の空きもありませんでしたので完全WEB開催としたい。各自、zoomに入室いただきスライド発表をお願いしたい。内容は4セッション、司会は池上総務局長、各セッションの間に質問は受ける。トータル117分で考えている。内容は西浦会長に福臨技・日臨技の概要説明として50分、学術活動について大久保学術部長に15分、各部紹介として各部長に2分以内で12分、各地区紹介として地区長に1地区7分で28分です。参加については入会予定者も含めたいと思っています。申込期間は7月1日~16日とします。開催後一週間以内にGoogleフォームでのレポート提出をしていただきます。6月の発送分に案内を同封します。HP記載も考えています。参加できない部長、地区長は必ず副部長、副地区長に説明して頂くようお願いいたします。佐藤地区長よりこの参加に関して、各理事も参加登録をしなくてはいけないかとの質問があったが、zoomの接続情報を予定日より数日前に配信するので参加登録の必要はなし。

6. タスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会について

会長 西浦

タスク・シフト/シェアについての内容とスケジュールの資料を提示します。タスク・シフト/シェアを今年度、厚労省の指定講習会として行わなくてはいけない方向で進んでいます。内容は静脈路確保など資料の通りでWEB研修ですが、問題はこれについての実技講習を行わなくてはいけないのですが、コロナ禍で実際出来るのかは難しいところです。すでに機材等は事務局に送られてきており、県任せの状況です。日臨技会館にて実技講習確認後に8月8日にシミュレーション研修会が行われる予定となっている。各都道府県にて実技を行うためのもので各都道府県合計60名、九州からは3名参加です。そこから九州支部、各県へと伝達となります。九州の担当理事は熊本県の田中会長で以降は福岡県開催を希望されているので、池上総務局長と木村企画運営部長に参加いただく方向で検討していきます。8月後半には各支部にて実務担当者講習会を行わなくてはいけないが、福岡県に担当してほしいとの要望がある。これが終わって、各県での実施となる。資料の通り、一部の指導者は都道府県技師会で確保するとなっているので、様々な交渉事もあり、大変な事業となると思われるので、協力をお願いします。

今、ワクチン接種の話も出てきています。厚労省からの伝達がまだなされていませんが、これについても講習会の話が来ると思います。

7. 日臨技定時総会について

会長 西浦

日臨技定時総会の委任状ですが、現時点で約2万9千名分で約45%、過半数にまだ5%

足りない状況ですので、提出していない方への呼びかけをお願いします。

8. 各部報告

●管理・運営（荒木）

提示した資料に沿った、発送文書、2021 年度会費納入数、運営資金納入数、地区別集計について報告。

●財務管理部長（加藤）

提示した資料に沿った、令和3年5月の会計報告。

●学術部長（大久保）

提示した資料に沿ったWEB研修会報告。学術事業部会議を行っているが、どのタイミングで行うかを検討している。各事業部の目標決定後と考えている。西浦会長より研修会はほとんどが専門と登録されている。基礎で登録できるものもあると思う。あくまで生涯教育の観点からですが、学術部長の方から研修会登録に際して、バランス的なこともお話しただけたらと思います。

●精度管理（坂本）

資料の大阪府と富山県技師会には試料送付済。他はこれからの予定。7月22日～25日で施設の調整がつけば試料作製を行う予定。購入許可を頂いていた分でトナーカートリッジ、試験管ラベルの見積もりが来ましたので提示します。136,400円のペリスタポンプが破損し修理できませんので購入いたします。西浦会長より試料作製は新たな人の投入など考えているのか。施設の都合もあり、現段階では決めていない。同じ人ばかりでなく、新たな人を育成して頂き、活性化して頂きたい。

●広報・情報管理（緒方）

資料に沿って発送作業等報告。6月24日にHPリニューアル会議を行う予定です。

●企画運営（木村）

タスク・シフト/シェアについては大きな仕事と考えています。会長に相談しながら取り組んでいきます。

●公益事業部長

「福岡市民の健康を歯と口から守るつどい」は中止となったが、そのイベントの中のラジオ放送企画のみ放送となっています。

9. 各地区報告

●福岡地区（新田）

資料に沿って会議報告。

●北九州地区（佐藤）

資料に沿って終了した会議報告と今後の学術活動報告。

●筑後地区（田代）

資料に沿って研修会予定報告。

●筑豊地区（浦園理事、代理発言）

資料の通りの会議や研修会を考えているが、期日は未定である。

10. その他

◇共催申請 2件

第23回メディカルスタッフのための感染症対策セミナー

(2021/9/14開催 / KRICT・北九州地域感染制御チーム)

承認

第34回日本外科感染症学会

(2021/12/17-18開催 / 第34回日本外科感染症学会総会学術集会

運営事務局)

産業医科大学病院 本田雅久技師申請分

承認

◇後援依頼 1件

サイエンスキャンプ2021

(2021/8/7-8開催 / 純真学園大学)

承認

田代地区長より

5月の一般検査の勉強会が多地区から登録いただき100名を超える状況となり、登録できなかった人がでる状況となりました。Zoomの今の100名視聴の契約から500名にバージョンアップしたり、500名視聴アカウントを追加するなどできないか。これほど参加との予測がつかなかったので県のアカウントに切り替えられなかった。

他の地区では現状の100で問題ないようである。事務局でも500をもう1本用意するとか、月単位で変更するなど検討しますが、レアケースでもあり、しばらく様子を見ていただきたい。今後、アフターコロナも考え検討していく事となった。

北里監事より、

来年度から臨地実習の法律が変わって単位数が増えます。各施設は臨地実習指導者講習受講者がいないと、臨地実習を受け入れられなくなりますし、教育機関からは実習依頼をお願いすることが出来なくなります。これについては秋くらいから指定講習会が始まると聞いたのですが、情報ありませんか。西浦会長より、もちろん行って行く予定ではありますが、日臨技としてはタスクシフトをやらないといけないので、若干ずれ込んでいると思います。予定は組んであると聞いています。

議事録作成 令和3年6月12日

池上 新一

議事録署名

_____ 印

_____ 印

_____ 印